

第102回全国高校サッカー選手権大会
和歌山大会・実施要項

1. 主催 一般社団法人和歌山県サッカー協会 和歌山県高等学校体育連盟 株式会社テレビ和歌山
2. 主管 和歌山県高等学校体育連盟サッカー専門部
3. 後援 公益社団法人和歌山県体育協会 和歌山県教育委員会 和歌山市 読売新聞社
4. 協賛 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 帝人株式会社
- 日本コープ共済生活協同組合連合会 株式会社明治 トヨタ自動車株式会社

パートナー 株式会社リクルート 株式会社ミカサ 株式会社イミオ

5. 日程と会場

- ◎参加 27チーム（3校による合同が1チーム、県高体連サッカー専門部の加盟は31校）
- ◎組み合わせ抽選会 9月21日（木）10：30～ 和歌山工業高等学校 多目的ホール
- ◎1回戦・2回戦 10月19日（木）・20日（金）・22日（日）
紀の川市桃源郷運動公園陸上競技場
南山スポーツ公園陸上競技場・上富田スポーツセンター
- ◎3回戦・準々決勝戦 10月27日（金）・28日（土）・29日（日）
上富田スポーツセンター・田辺スポーツパーク陸上競技場
- ◎準決勝戦 11月5日（日）紀三井寺公園陸上競技場
試合開始 第1試合11：05 第2試合13：20
- ◎決勝戦 11月11日（土）紀三井寺公園陸上競技場 試合開始 13：05

6. 組み合わせ抽選方法

- A) 本年度高校総体の上位4チーム（①初芝橋本、②和歌山南陵、③近大和歌山、④和歌山北）のうち、総体優勝の初芝橋本を最初のゾーンに、同じく準優勝の和歌山南陵を最後のゾーンにシードする。準決勝までお互いに対戦しないよう残りの2チームの近大和歌山と和歌山北をシードする。以上4校は、3回戦からの出場とし、振り分けられた各ゾーンでの位置は抽選で決める。
- B) 本年度高校総体上位8チームうち、5位以下のチーム（桐蔭、向陽、和歌山工業、近大新宮）をシードする。
- C) シード8校以外のチームに関しては、予備抽選で抽選順を決定し、順番に抽選を行うこととする。

7. 表彰、その他

- A) 優勝チームには賞状、優勝旗、優勝カップ、メダル、協賛社杯などを、また2位、3位のチームには賞状を授与する。
- B) 優秀選手を本大会の上位4チームから選考し発表する。人数は15人以内とする。
- C) 優勝チームは、令和5年度全国高等学校サッカー選手権大会の出場権を得る。

8. 放送予定 テレビ和歌山で実況中継（試合展開によって延長の場合有り）

- ◎準決勝戦 11／5（日）11：00～15：30（最大延長17：30）
- ◎決勝戦 11／11（土）13：00～15：30（最大延長16：30）

大会要項

A) 参加資格

- ① 日本サッカー協会に加盟登録された2種登録チームの所属選手で、県高体連加盟校の生徒であり、本年度日本サッカー協会に登録を完了した者であること。
- ② 本年度4月2日以降に当該学校に在学している者で、年齢は平成16年4月2日以降に生まれた者とする。
ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回かぎりとする。
- ③ 「合同チーム」を編成する場合は、県高体連サッカー専門部の内規に基づくものとする。なお本大会における「合同チーム」とは、部員不足により単独校として参加できないチームに対して、出場の機会を与えることを目的とするもので、強化を目的とした合同チームの編成は認めない。そのような事実が判明した場合は、大会参加を取り消すこととする。
- ④ 転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない。ただし、一家転居などやむを得ない場合は、県高体連会長の許可があれば、その限りではない。
- ⑤ 転校を伴わなくても他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は、上記④に準じるものとする。本規定⑤の適用は、当該年度内に限る。
- ⑥ 学校長の出場承認、並びに健康診断を受けた者であること。
- ⑦ 参加資格に違反し、その他不都合な行為のあった場合は、該当チームの出場を停止する。

B) 参加申込

- ① 1チームは、引率教員1人、監督1人、選手25人で、引率教員が監督を兼任してもよい。
- ② 所定の用紙に必要事項を記入し、指定期日までに事務局に申し込む。エントリー選手の追加は認めない。選手の変更は、選手変更届を定められた期日までに事務局に提出することによって5名を上限として認める。

C) 競技規定

- ① 1チームは25名までの選手で編成し、エントリー時に11名に満たないチームは、出場できない。
- ② 選手の交代は、試合開始時の登録した最大9人までの交代要員の中から5人までとする。また、後半の交代回数を3回までとする。なお延長戦に入った際、さらなるもう1名の追加は認めない。
- ③ 延長戦に入った際、後半に3回の選手交代を行った場合でも、選手交代を1回行うことができる（交代枠が残されている場合に限り）。
- ④ 本大会において退場処分を受けた者は、次の1試合に出場できない。それ以降の処置については、本大会の規律フェアプレー委員会で決定する。
- ⑤ 本大会において、累積した警告が2回になった者は、次の1試合に出場できない。
- ⑥ 本大会において、災害や悪天候など、不可抗力により試合が中止となった場合は、その試合（試合中に中止になった場合はその試合の途中経過）を無効とせず、翌日以降にその試合が中止となった時間から、残りの試合時間を行う。再試合の日程・場所・審判は本部役員会議で決定する。なお、本規定は延長戦にも適用する。ただし、正規の試合が終了後のPK方式の前、またはその途中での中止には適用せず、トスまたは抽選で勝敗を決する。試合の中止を決定後、1時間以内に両チームおよび本部役員と協議のうえ、中止した時の結果を下に試合を成立させることができる。また、同一大会における以降の日程・場所・審判については本部役員会議で決定する。
- ⑦ 特に規定のない場合は、本年度日本サッカー協会の「サッカー競技規則(2022/2023)」による。

D) 競技方法

- ① トーナメント方式による。
- ② 試合時間は前後半で80分とし、勝敗が決しない場合はペナルティキック（以下PK）方式で、次回戦に進出するチームを決定する。ただし準決勝戦、決勝戦において勝敗が決しない場合は、試合を前後半で20分延長し、さらにそれでも決しない場合は、PK方式で次回戦に進出するチームを決定する。なお決勝戦においては優勝校を決定するものとする。